

日本消防



- 第32回全国消防殉職者慰霊祭
- ラジオ番組「おはよう!ニッポン全国消防団」好評放映中



10
2013

□ 絵 第21回全国女性消防操法大会 H25.10.17 (木) 横浜市消防訓練センター
東京都大島町消防団に災害対策支援金を交付 (財)日本消防協会

巻頭言「消防団員の確保に向けて」	(公財)北海道消防協会	会長 東田 慎悟	1
日消の動き「消防の未来を思う記念大会へ」	(財)日本消防協会	会長 秋本 敏文	2
第32回全国消防殉職者慰霊祭	(財)日本消防協会		3
災害被害状況			8
特別表彰「まとい」を受章して 時代に即した消防団活動	入間市消防団	団長 内村 良一	10
東西南北(静岡)安全・安心の「日本一の街づくり」を目指して	熱海市消防団	団長 牧野 克昭	12
東西南北(栃木)「安心・安全な町、かみのかわを目指して」	上三川町消防団	団長 上野 政博	14
東西南北(兵庫)「水五則」を訓として	加古川市消防団	団長 一井 三好	16
東西南北(佐賀)「世代を超えたコミュニティ組織としての存在意義も大きい消防団!」	神崎市消防団	団長 久保 敏之	18
シンフォニー(岩手県)「街の防災に女性の力を」	北上市消防団第1分団第1部	団員 高橋 裕香	20
シンフォニー(愛媛県)「今、女性消防団員として」	伊予市消防団 本団	団員 仲神 明美	22
明治の蒸気ポンプ披露	富山県南砺市消防団	団長 齊藤 隆夫	24
ラジオ番組「おはよう!ニッポン全国消防団」出演者紹介	(財)日本消防協会		26
「消防育英会理事会」の開催について	(公財)消防育英会		29
2013年度CTIF総会について	(財)日本消防協会		30
ヨーロッパ青少年消防オリンピックの概要について	(財)日本消防協会		32
ガス機器による火災及びガス事故の防止	総務省 消防庁 予防課		34
火山災害に対する備え	総務省 消防庁 防災課		35
地震に対する日常の備え	総務省 消防庁 防災課		36
福知山市花火大会火災を踏まえたイベント会場等におけるガソリンの貯蔵・取扱い時の留意事項	総務省 消防庁		37
平成25年度 消防団長等幹部海外消防事情調査の実施について	(財)日本消防協会		38
「消防団員健康セミナー」を実施	埼玉県消防協会第4ブロック連絡協議会		39
「地域を守る侍求む。」～札幌市消防団員の募集ポスター作製～	札幌市消防局		40
防災“女子会”	北多摩西部消防署 予防課 栗田 智恵		41
特殊切手「消防団120年」の発行	日本郵便株式会社		42
頑張れ!少年消防クラブ(富山県)鷹栖少年消防クラブの取り組み	砺波市立鷹栖小学校 校長 朝倉 良子		43
うちの名物団員			44
消防団の広場(和歌山県)「消防団の活性化を目指して」	田辺市消防団 団員(活性化推進委員会委員長) 岩峪 靖		46

編集後記

表紙写真説明

「韮山反射炉と富士山」

世界遺産登録を目指す韮山反射炉(写真左下)。そして、まるでその姿を見守るかのよう
にそびえ立つ“先輩”富士山。

韮山反射炉は、幕末に鉄製大砲を鑄造するために築造された溶解炉で、日本の近代化を物
語る「明治日本の産業革命遺産」の構成資産として、平成27年の世界遺産登録を目指してい
ます。(静岡県)

第21回全国女性消防操法大会

平成25年10月17日(木) 於 横浜市消防訓練センター



東京都大島町消防団に災害対策支援金を交付

(財)日本消防協会

台風26号の豪雨により、東京・伊豆大島（大島町）で大規模な土砂崩れが発生し多数の死者や行方不明者、住宅の全半壊等甚大な被害が生じました。この災害に対し、警察や消防、自衛隊、関係機関等によって、懸命な人命救助・検索活動が行われています。

財団法人日本消防協会では、災害対策支援金要綱に基づき、災害活動に従事する消防団員を支援するため、大島町消防団に災害対策支援金を交付しました。



左から 大島町消防団 大島町 日本消防協会
吉田団長 川島町長 生嶋常務理事



現場視察



被害状況



被害状況



懸命に検索活動をする消防団員

「消防団員の確保に向けて」

(公財)北海道消防協会 会長 東田 慎悟



私たちが住む北海道は、日本の国土面積の22%を占め、人口は545万人。うち40%を超える250万人が札幌市とその周辺に住む、という1極集中が進んでいる反面、人口密度は66人／1haと全国最小で、県より大きい面積を管轄する消防本部もあり、団員一人当たりの守備範囲の広さは他を圧するものがあります。

東日本大震災から2年半が経過していますが、およそ500年の間隔で北海道を襲うと予測されている大地震とそれに伴う大津波から、どの様にして地域住民の命を守るか、北海道を始め全道各地の市町村が知恵を絞っています。その対応策を考えるうえで、地域防災の中核として、最前線に立つ消防団員の減少が問題になっています。

北海道の消防団員数は、およそ26,300人で、毎年1,300人～1,400人が入団し、1,400人～1,500人が退団していきます。この差が減少数になるのですが、入団者の半数は10代・20代の若者です。しかし、入団しても、5年以内に20%が、10年以内に30%の方が退団しているのが現実です。この退団を食い止めることが出来れば、団員数の減少に歯止めを掛けることが出来る。そう考えて、様々な施策を考え、実行に移しているのですが、それが正鵠を射るかどうかは、やってみなければ分からないのが実態です。しかし、何もしないでいるよりは良いはずだし、ダメならダメで、この方法では無理だから違う方法を考えれば良い、と割り切ることにしています。

折しも、日本消防協会の「消防団員確保対策検討委員会」の委員に選任していただいたこともあり、日本全国で行われている団員確保対策事業を見聞することが出来るようになりました。有難いことだと感じています。

新入団員は入団3年以内に基礎教育研修を消防学校で受講するのが望ましいのですが、学校でも全員を受け入れるのは難しく、また、新入団員も、北海道では学校へ来るまで丸1日かかってしまうので、二の足を踏んでしまうことがあって、なかなか研修受講が進みません。それも退団してしまう要因の一つではないかと考え、各消防団・各支部（北海道消防協会には14の支部があり、各々の支部で地域をまとめています）において、新入団員への意識付け・動機付け・帰属意識を高める研修を実施するときの費用を助成するための予算付けを行いました。この予算は、研修のみにとどまらず、若手団員の意識付けに役立つ行事であれば、何にでも使用して構わない、としています。

また、北海道・各市・消防協会が共同で、道庁庁舎内・道内5都市（石狩市・稚内市・留萌市・旭川市・岩見沢市）において消防団PR展を開催し、消防団員入団促進キャンペーンを実施しています。

このほか、協会独自の事業として、イベント用に消太君、消子ちゃんの着ぐるみ、子ども用防火衣、法被などを製作し、各地での消防イベントへの貸し出しを行っている他、企業・地域住民・児童向け防火PR用DVDの貸し出しも通年で実施しています。このことにより、より視覚に訴えるPRが出来るのではないかと考えています。

団員の確保対策では、全国各地で様々な取り組みがなされていますので、これらを参考にさせてもらい、毎日の地道な取り組みが何時か実を結ぶ、と信じて、これからも団員確保対策事業を進めて参りたいと考えています。

「消防の未来を思う記念大会へ」

(勲)日本消防協会 会長 秋本 敏文

11月25日、東京ドームで開催する消防団120年・自治体消防65周年記念大会は、これまでの大会とは少し違ったものになります。

これまでの大会は、第2次大戦後の自治体消防制度発足から何年ということでしたが、日本消防の歩みをこのような制度からだけとらえるのではなく、消防活動の実態そのものの歩みという面からも考えてみようということで、我が国の消防が全国的に統一した姿で装備されはじめたと思われる明治27年の消防組規則制定、これによる現在の消防団スタートから120年ということ大会の名称に加えました。

また、消防活動は大変広範ですが、その底に共通するものは、家族や隣人の幸せを願い、ふるさとを大切に思う気持ちでしょう。これは「愛」といってもよいでしょう。そして、それが、本当に火災を消し、人を救い出すなどの現実の活動になるためには、消防人ひとりひとりの気力、体力、技術、そして装備などが必要です。そうして実現される活動は「力」といってもよいでしょう。このように消防の基本を考え、その発展をめざすことを「消防その愛と力」として大会のテーマにしました。

具体的な大会の内容は盛り沢山ですが、このような考え方を基本にして組み立てています。そうしますと、通常行われています大会宣言は、これも少し考えた方がよさそうですので、「消防未来宣言」にしようと思っています。これは、先日お集り頂いた各県会長さんの会議でご了承頂いたのですが、百年以上にわたる先人のご努力ご尽力を振り返り、そのお陰で今日、国民の皆さんから信頼される日本消防があるということであらためて思いながら、東日本大震災などの教訓をいかし、新しい技術も導入し、全国一致団結して、地域住民の皆さんとともに、あらゆる災害事故に対処し、国民の皆さんの安全を守るより強固な未来の日本消防づくりにまい進するという趣旨のものです。

勿論、その実行は簡単なことではありませんが、東日本大震災につづく大規模な地震津波の切迫性が指摘され、これまでは考えられないような局地的な集中豪雨や竜巻が発生しています。社会経済の変化や技術の進歩で思いもよらない事故等もあります。活動のあり方も考えなければなりません。一方、消防団員の確保に苦心しなければならないような世の中の変化もあります。消防全体のあり方としても、このような状況に即応していろいろ考え、絶え間ない変化への努力をしなければならない時代に今はなっていると思われまます。そのような時期の大会ですから、「消防未来宣言」のようなことをしなければならないと思うのです。

それはそれとして、大会は、参加した皆さんにとってまず楽しいものになりたいですね。そのようなものにするよう皆さんと一緒に最後までがんばりたいと思います。

第32回全国消防殉職者慰霊祭

(財)日本消防協会

第32回全国消防殉職者慰霊祭が9月12日（木）、東京都港区のニッショーホールにおいて関係者約700名が参加して執り行われました。

今回、新たに合祀された御霊は8柱、総合祀数は5,679柱となりました。



安倍内閣総理大臣、新藤総務大臣、古屋防災担当大臣をはじめとすご来賓各位並びに全国消防関係者多数の方々が参列され、御霊の奉納、国歌斉唱、黙とうの後、日本消防協会秋本会長の式辞に続いて、安倍内閣総理大臣、新藤総務大臣から追悼のことばをいただきました。

続いてご遺族を代表して兵庫県の山本雲一様が追悼のことばを述べられた後、参列者による献花、江戸消防記念会による鎮魂の歌（木遣り）が行われ、秋本会長のお礼のあいさつで式典は終了しました。





式辞 秋本会長

式 辞

日本消防協会 会長 秋本 敏文

本日、第32回全国消防殉職者慰霊祭を執り行うに当たり、消防の使命に殉じられた数多くの御霊に対し、謹んで哀悼の誠をささげます。

本日の慰霊祭におきましては、全国からご遺族をお迎えするとともに、安倍内閣総理大臣、新藤総務大臣、古屋防災担当大臣をはじめとするご来賓各位、さらに全国消防関係者多数のご参列を頂きました。深く感謝申し上げます。

今回新たに合祀申しあげるのは8柱であり、合祀されている御霊は、ここに5,679柱となります。火災、風水害、地震、津波などの災害で、また行方不明者の捜索など極めて困難な状況のもと、危険との厳しい闘いの中で、国民の生命、身体、財産を守るという消防の崇高な使命に殉じられた方々であります。尊霊のご活動を思いますと、痛恨の念まことに堪え難く、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

また、ご遺族に対しましては、その胸中

をお察ししますと、申し上げる言葉がありません。今はただひたすらご健勝ご多幸をお祈り申し上げます。

今年は、消防団120年自治体消防65周年の記念大会を開催いたしますが、このような機会を通じて、私どもは、数々の危険に身をさらしながら今日の日本消防を築いてこられた先

人の歩みを振り返って、安全確保、事故防止に万全を期しながら、あらゆる災害、事故に対応し、安全安心な社会を実現することができる一層強固な消防防災体制づくりにまい進する決意をさらに固めてまいります。

これが尊霊のご遺訓に沿うものであると存じ、ここに固くお誓い申し上げます。

最後に、御霊の安らかなご冥福を心からお祈り申し上げて式辞といたします。

追悼のことは

内閣総理大臣 安倍 晋三

第32回全国消防殉職者慰霊祭に当たり、謹んで追悼のことはを申し上げます。

このたび、新たに祀られた8名の消防職員、団員、消防活動にご協力いただいた方々のご冥福をお祈りいたします。

皆さまは、昨年9月の兵庫県姫路市のコンビナート火災における消火活動や、本年5月の新潟県阿賀町における行方不明者の捜索活動などに従事される中、尊くも犠牲となられました。

皆さまが身をもって示した強い使命感とその勇氣に、衷心より敬意と感謝を表します。

愛する家族を失われた御遺族の悲しみ、無念さを思うと、悲痛の念に堪えません。御遺族の皆様に対し、心からお悔やみを申し上げます。

こうした勇敢な方々を失ったことは、社会にとっても誠に大きな痛手です。

私たちは、これまでに祀られた5,679柱の御霊の尊い犠牲を無駄にすることなく、その御遺志にこたえるため、命を守り抜く防災対策を推進し、世界で一番安全な国づくりの実現に全力を尽くしてまいります。

ここに改めて、御霊の安らかならんことお祈り申し上げるとともに、御遺族の皆様の御平安を切に祈念いたします。

追悼のことば

総務大臣 新藤 義孝

第32回全国消防殉職者慰霊祭に当たり、謹んで追悼のことばを申し上げます。

火災や地震、台風、集中豪雨などの災害から国民の命を守る消防の活動には、多くの危険と困難が隣り合わせです。

本日、新たに祀られた御霊は8柱であり、建物火災やコンビナート火災における消火活動中の殉職事故や、あるいは、行方不明者の搜索活動や訓練活動中の殉職など、地域住民を守るという強い使命感のもと、その責務を全うしようとし、尊くも犠牲になられました。



追悼のことば 安倍内閣総理大臣

その身をもって示された崇高なる強い責任感、行動は、私どもが常に銘記しておくべき消防精神の発露であります。この尊い犠牲を永く後世に受け継いでゆかねばなりません。

そして、御遺志にこたえるためにも、昨今の豪雨災害や今後発生が懸念される大規模地震等を踏まえ、地域の消防防災体制の充実強化に最善の努力を尽くすとともに、消防職団員の活動時の安全対策に取り組み、



追悼のことば 新藤総務大臣

国民の命を守るべく邁進してまいります。

ここに改めて、御霊の御冥福をお祈り申し上げ、御遺族の皆様方の心穏やかな日々をお祈り申し上げまして、追悼のことばといたします。

追悼のことば

兵庫県姫路市 遺族代表 山本 雲一

本日、ここに、第32回全国消防殉職者慰霊祭が執り行われるにあたり、全国の消防殉職者の遺族を代表して、追悼のことばを申し上げます。

私の息子は、平成21年4月、念願であった消防吏員に採用されて以来、市民の生命、身体及び財産を災害から守るといふ崇高な使命を果たすため、何事にも全力で取り組んでおりましたが、昨年9月29日に姫路市網干区興浜で発生した化学工場爆発火災において、全く思いもよらない形で私達家族を残し28年の短い生涯を閉じてしまいました。

これからという時にさぞかし無念であったと思います。

あの日の事は、月日が経ちましても決して忘れることはありません。

私達遺族は、在りし日の消防活動に励む姿を思うにつけ悲しみは増しますが、あなた方が地域の安全を守るという崇高な消防の使命に殉じたことは、大きな誇りでもあります。

この事を心のより所とし、残された家族で助けあい、消防関係の方々の

励ましとご支援に感謝しながら、心をひとつにして、苦しみや悲しみを乗り越えてまいりますので、天国から温かく見守っていただき。

本日は、日本消防協会をはじめ全国の消防関係の皆様方のご厚情により、安倍内閣総理大臣をはじめ多数の方のご臨席のもと、このような厳粛な慰霊祭が執り行われ、御霊の安らかなご冥福と、私達遺族に温かいお言葉を賜りました。

皆様からいただきました温かい励ましとご支援に心から感謝申し上げます。

私達は、今日からまた、気持ちを新たに日々力強く生きていくことを固くお誓いいたします。

終わりに、御霊の安らかなるご冥福をお祈りいたしますとともに、本日ご参列の皆様方のご健勝と、国民の生命と財産を守るために尊い業務に従事されている多くの消防人の方々の安全を心からお祈り申し上げます、追悼のことばとさせていただきます。



追悼のことば 山本さん



献花 安倍内閣総理大臣



献花 新藤総務大臣



献花 古屋防災担当大臣



鎮魂の歌（木遣り）



全国消防殉職者慰霊碑

災害被害状況

平成25年9月に発生した災害の被害状況です。

なお、(財)日本消防協会は非常用食料交付要綱に基づき、現場活動に従事した消防団員を支援するため、(公財)京都府消防協会、(公財)福井県消防協会、(公財)滋賀県消防協会に非常用食料を交付しました。

平成25年9月2日 埼玉県越谷市で発生した竜巻による被害状況 (写真提供：埼玉県)



平成25年9月16日 埼玉県行田市で発生した竜巻による被害状況 (写真提供：埼玉県)



平成25年9月16日 埼玉県熊谷市で発生した竜巻による被害状況 (写真提供：熊谷市消防本部)



平成25年 9月16日 大雨による京都府の被害状況 (写真提供：京都府)



京都市嵐山



福知山市

平成25年 9月16日 大雨による福井県の被害状況 (写真提供：福井県)



若狭町 (三方湖)



小浜市忠野



小浜市羽賀

平成25年 9月16日 大雨による滋賀県の被害状況 (写真提供：湖南広域消防局)



栗東市下戸山



新草津川



時代に即した消防団活動

入間市消防団 団長 内村 良一



入間市及び入間市消防団の沿革

入間市は、都心から40km圏の埼玉県南西部に位置し、面積44.74km²、人口150,298人、61,678世帯（平成25年9月1日現在）の都市です。市域の約6分の1を占める茶畑と、東西に流れる3つの河川が美しい景観をなしています。

入間市消防団は、昭和41年11月1日の入間市市制施行とともに発足しました。その後、分団内の統廃合を経て、平成25年9月現在、7分団20部、条例定数303名に対して295名を有し、消防ポンプ自動車14台、小型ポンプ付積載車6台の計20台を装備しています。消防団員の平均

年齢は33.2歳と、県内64消防団の中でも屈指の若さを誇っています。また、地場産業であるお茶生産農家や自営業者が多いため、都市部ながらサラリーマン比率が低く、非常に災害対応能力が高い消防団であると自負しています。

多様化する災害に備えた訓練

当市は、幸いにして災害の発生件数は少ない状況にあります。しかし、阪神・淡路大震災や東日本大震災など過去の大災害を教訓にするとともに、ここ数年来増加しているゲリラ豪雨や、先日埼玉県などに大きな被害をもたらした竜巻など、多様化する災害に備えておく必要性を実感しています。発災直後に即時対応できる消防団の行動力を生かして、多機能型消防車を配備し救助工作部隊として活動することができれば、火災だけでなく、他の災害においても活動の場が広がります。

このようなことから、近年は各分団へ多機能車の配備を進め、エンジンカッターやチェーンソーなどの救助資機材の整備を図っています。本年3月には、多機能車に積載した資機材を使用し、車両に取り残された要救助者を、車両を破壊することにより救助するという想定での訓練を行いました。



特別点検

た。この訓練では、車両ドアの開放やハイブリッドカーの電源遮断など、解体業者の協力により実際の車両を使用した、より実践的な訓練を実施することが出来ました。

また、有事に備え、災害発生時の連絡体制などを確認するため、災害発生メールの送受信による非常招集訓練を、実際に則した形で、実施日時を公表せずに実施しています。これらの訓練では、団員としての自覚と役割を再認識することができ、さらなる意識の向上につながったものと考えています。



多機能車合同訓練



成人式



意見交換会

積極的な広報活動

当市消防団では、各分団から選抜されたメンバーで広報委員会を設置し、積極的な広報活動を行っています。主な活動としては、ホームページの更新や広報紙・ポスターの作成、地元ケーブルテレビ局やコミュニティFM放送局でのCM放送などが挙げられます。毎月行っている会議では、より良いものを作ろう、よりかっこいいものにしようと、活発な議論が交わされています。撮影からデザイン、編集までを広報委員が手掛ける広報紙やポスターには、団員の熱い思いが込められています。

また、若い世代に直接PRすることも効果的ではないかということから、今年の成人式では、会場の一画にPRスペースを設置し、消防団に関するアンケートを実施しました。これらの活動を通じて、まず市民の皆さんに「消防団を知ってもらうこと」、次に「消防団の活動を理解してもらうこと」、そして「消防団に入ってもらおうこと」とつながるように願っています。

団員の環境整備

団員が安全に安心して活動するためには、環境を整備することも重要です。そのため、毎年意見交換会を開催し、各分団各団における諸問題を討議し、団員の共通問題として認識する場を設けています。特に今年は、団員の装備品について討議を行い、被服に関することから車庫・消防車両の備品に関することまで、さまざまな意見が出されました。限られた予算の中では、すべての意見に対応することは困難ですが、財政当局に対して積極的に働きかけ、装備・設備の充実を図っていきたくと考えています。

その他の取り組みとして、レクリエーション活動の充実が挙げられます。火災や災害時には、団員は地域の先頭を立てて消火・救助活動を行いますが、危険を伴う活動のため、日頃の厳しい訓練は必要不可欠です。ただし、厳しいばかりの活動では、団員の士気も下がり、団員数の減少につながりかねません。そのためにも、訓練活動と同様にレクリエーション活動も充実させることが大切だと感じています。当市消防団では、各分団各団でのレクリエーションを始め、全分団が参加してのソフトボール大会やゴルフ大会など、さまざまなレクリエーション活動を行っています。

「まとい」受章を胸に

当市消防団は、平成25年2月26日に、栄えある日本消防協会特別表彰「まとい」を受章させていただきました。これは、長年の活動が評価されたものであり、身に余る光栄です。ただし、「まとい」の受章が我々の目的ということではなく、あくまでも一つの大きな区切りとなるものです。今後は、「まとい」受章の誇りを胸に、さらに一致団結して活動していきたいと考えています。



まとい受章祝賀会



安全・安心の 「日本一の街づくり」 を目指して



熱海市消防団 団長 牧野 克昭

1 熱海市の紹介

熱海市は、静岡県最東部の伊豆半島東岸基部に位置し、東は相模灘に面し、三方を山に囲まれ、管内面積は61.61km²、約50%が山林で、急峻な地形のため平坦地が少なく、海岸から山腹にかけて階段状に発達しています。

また、古くから温泉の恵みとそれを背景に育まれた文化により栄え、温暖な気候と風光明媚な自然景観を有していることから、明治以降、多くの政治家、実業家、そして文学者・小説家などに愛されてきました。



上空からの熱海市

首都圏からのアクセスの良さから、年間560万人もの多くの観光客の皆様が訪れています。

2 消防団の概要

熱海市消防団は、熱海（東部・中部・西部）、泉・伊豆山、多賀、網代・初島の各地区で11個分団及び女性消防部で組織されています。車両配備等の状況については、消防ポンプ自動車11台（CD-I型5台・CD-II型6台）、可搬式ポンプ24台を配備しています。

3 消防団の活動

市民はもとより当市を訪れる多くの観光客の皆様の安全・安心を守るため、毎月1日を「防火デー」に定め、火災防御訓練をはじめとした各種訓練を実施し、毎月15日には、資機材・機関点検等を実施しています。



近隣市町との合同演習



熱海海上花火大会の警戒

熱海消防の全消防力を公開する演習は、消防本部・消防署との合同で、年2回（春・秋）の火災予防週間中の行事として実施し、常備消防と非常備消防の連携強化、消防職団員の士気高揚を図るとともに市民からの信頼を高めています。

また、発生が危惧される東海地震をはじめ、神奈川県西部の地震等の自然災害に備え、隣接する伊東市と神奈川県湯河原町消防団とも合同演習を実施するなど、大規模災害時における応援・受援体制の訓練もあわせて行っています。

一方、女性消防部は、平成7年に発足し、女性のもつきめ細やかさなど、ソフトな感性を生かし、高齢者世帯宅の防火訪問、予防広報活動をはじめ、災害時における救護活動等の一翼を担っています。

春夏秋冬に行われ、四季の花火が楽しめる「熱海海上花火大会」は、年間20回を数え、消防本部・消防署と一体となった花火

警戒を行っています。

この花火大会は、昭和27年から開催し、62年の歴史があります。この間、花火の事故もなく、開催できていることは、市民をはじめ、関係機関の努力によるものでございます。

4 おわりに

消防団員の公務災害防止・安全対策を第一に考え、公益財団法人静岡県消防協会と連携を図り、田方支部管内（5市1町：熱海市、伊東市、三島市、伊豆の国市、伊豆市、函南町）の消防団が合同で、公務災害防止研修をはじめ、交通安全研修などの事業を積極的行っています。

消防団120年、決意を新たに災害に強い「安全・安心」そして「日本一の街づくり」を目指し、努力していく所存でございます。



田方支部管内6団合同でのS-KYT研修



女性消防部による団員への上級救命講習



「安心・安全な町、 かみのかわを目指して」



上三川町消防団 団長 上野 政博

1 上三川町の紹介

かみのかわまち

上三川町は、関東平野の北部、栃木県中南部に位置し、また、東京から直線距離で約90km北東にあり、比較的平坦な地形となっています。

古来より、「三川の郷」と呼ばれ、大いなる水の恵みを受けて栄えてきた上三川町。町内を流れる3つの大きな川、鬼怒川、田川及び江川は、この地を肥沃にさせ、農耕が盛んで、産業を支えるだけでなく、豊かな心を育み、文化を実らせてきました。

町の北部に位置する宇都宮上三川インターチェンジは、新4号国道と北関東自動車道の連結点にあり、巨大なショッピングセンターやアミューズメント施設を持つ新しい物流の拠点となっています。

2 上三川町消防団の紹介

上三川町消防団は、平成25年4月1日現在、4分団12部で構成されており、実員数250名（条例定数250名）で組織されています。

運用資機材は、消防ポンプ自動車9台、小型動力ポンプ付積載車3台であり、うち1台は、平成22年に総務省消防庁より救助資機材搭載型車両を貸与いただき、町民約31,000人の安心・安全のため、日夜活動しています。



辞令交付式

3 上三川町消防団の活動

上三川町消防団の活動としては、4月の辞令交付式に始まり、6月には町操法大会を開催し、秋季火災予防運動の一環で行っている火災予防パレードにおいては、町内全域を消防団の車両が巡回し、町民の防火意識の高揚を図っています。春季火災予防運動の一環として、消防演習を実施し、防災関係機関及び自主防災組織等との合同訓練を行っています。

さらには、消防施設等の管理調査、水防訓練及び規律訓練については年2回ずつ行うなど、団員一人ひとりの技術の向上並びに意識の高揚に努めています。



消防演習



水防訓練



操法大会



火災予防パレード

4 おわりに

近年、一昨年3月の東日本大震災、そして、これに端を発する福島第1原子力発電所の事故、ゲリラ豪雨等による風水害などに見られるように、いつ大きな災害が発生するか予測のつかない現状にあって、消防団に対する町民の期待は、まことに大きなものがあります。

しかしながら、団員の高齢化、サラリーマン化、町内での就業率の減少による日中の参集率の低下、団員の確保の問題など、消防団を取り巻く環境は、非常に厳しいものとなっております。

こういった中で、団員一人ひとりが、地域の防災リーダーとしての自覚を持ち、「安心・安全な町 かみのかわ」の実現に向けて、消防団活動に邁進して参る所存です。



「水五則」を訓として



加古川市消防団 団長 一井 三好

1 加古川市の紹介

加古川市は、兵庫県南部に広がる播磨平野の東部を流れる県下最大の一級河川「加古川」が瀬戸内海に悠々とそそぐ下流域に位置しています。海岸線には、我が国有数の製鉄会社があり、内陸部には、伝統を生かした靴下・建具など特色ある地場産業が営まれ、大型量販店などの商業活動も活発に展開されています。市北部には、のどかな雰囲気が漂う農村風景が残るなど自然が満喫できる文化と自然の香り高いまちです。(市内総面積138.51km² 人口268,213人)



俯瞰

2 消防団の組織概要

加古川市消防団は、昭和14年消防組を警防団に改称し、昭和22年に団員数684人の消防団に改称され、昭和23年に加古川町消防本部、加古川町消防署が自治体消防として発足されたことに伴い消防団も加古川町消防団1団5

分団、団員数350人に改められました。この組織が当市消防団の原形であり、現在は1市1団19分団1,182名(定数1,200名)で構成されています。

3 消防団の活動状況

加古川市消防団では、平素の災害出動はもちろんのこと、各種訓練にも積極的に参加し、消防力向上に努めているところであります。平成24年度には、自然災害に対する活動能力の向上を目的に、救命ボート、フローティングロープ、浮環等の水防資機材の充実を図り、安全ベルト、救命胴衣等の安全管理資機材も合わせて整備し、現在は常備消防の指導の下、技術修得に訓練を重ねております。また各分団における訓練でもチームワークの充実をモットーに行っており、昨年のポンプ操法大会におきましては、訓練成果を十分に発揮し、ポンプ自動車の部、小型ポンプの部ともに地



第24回東播磨地区消防操法大会



出初め式（はしご乗り演技）



女性分団ラッパ隊

区代表として兵庫県大会に出場することができ、団員の士気高揚にもつながりました。

広報活動におきましても各種町内会行事、市主催のイベントに数多く参加しております。特に市主催のツーデーマーチでは市内全域の交通安全立番を担当し、ウォーカーとの対話を大切に、親しみやすい消防団をPRしております。また、毎年恒例の消防出初め式で披露します「はしご乗り演技」につきましては、平成13年から実施し、加古川市消防団の伝統となりつつあり、市民からも好評を得ております。

加古川市消防団の特色の一つとして女性分団があります。平成18年に発足、愛称は「リバーエンジェルス」とし、先ほど紹介しました「はしご乗り演技」も披露することができ、各種イベントにおきまして花を添えております。また女性だけのラッパ隊を編成し、出初め式のオープニングを飾っております。現在

は幼稚園等で防火紙芝居をはじめとする広報を中心に活動を行っており、また医師会主催のAED講習会にも指導員として参加し、救命普及活動にも活躍しています。

4 水五則を訓として

【水五則】

- 一、自ら活動して他を動かしむるは水なり
- 二、障害にあい激しくその勢力を百倍し得るは水なり
- 三、常に己の進路を求めて止まざるは水なり
- 四、自ら潔うして他の汚れを洗い清濁併せ容るるは水なり
- 五、洋々として大洋を充たし発しては蒸気となり雲となり雨となり雪と変じ霰あられと化し凝しては玲瓏れいろうたる鏡となりたえるも其性そのを失はざるは水なり

これは加古川市ゆかりの戦国武将「黒田官兵衛」の作と伝えられています。市の象徴である加古川を見ますと、普段は悠々と流れ市民生活を支える水、そして消防人にとって「欠かすことのできない心強い味方」でありながら、時には牙をむき災害として我々の前に立ちはだかる、恵みと災害の二つの水の顔を持っております。加古川市消防団といたしましては、この「水五則」を訓として、水害をはじめ、あらゆる災害に対し怯むことなく、柔軟に、迅速かつ確実に対応できる組織体制の確保に努めていきたいと考えております。



総合防災訓練



「世代を超えた コミュニティ組織としての 存在意義も大きい消防団!」



神崎市消防団 団長 久保 敏之

1 神崎市の紹介

神崎町、千代田町及び脊振村は、町村合併により平成18年3月20日に、「自然と歴史と人が輝く未来都市」をキャッチフレーズに「神崎市」として生まれ変わりました。

当市は、佐賀県の東部に位置し、脊振山を最高峰とする北部の山間地域と市の中央を流れる城原川が潤す肥沃な平野からなる南部の穀物地帯と縦に長い形を成しています。

人口は約3万3,000人、面積は125.01km²であり、地目別では、山林・原野などが約66%を占めており、田畑が28%と緑豊かな環境が広がっています。

また、脊振山麗の県立自然公園、国の名勝に指定された九年庵や日本最大級の環濠集落遺跡である国営吉野ヶ里歴史公園、次郎物語の作者である下村湖人の生家など山間部から平野部まで自然と歴史に富んだまちです。

2 神崎市消防団の概要

平成18年3月の町村合併と同時に管内3団で編成されていた消防団が合併し神崎市消防団となりました。組織としては、団本部と北部隊、中部隊、南部隊の3隊、計8分団52部とラッパ隊、女性消防隊、機械隊で編成し、平成25年4月1日現在の団員数



出初式パレード

が1,000名で市民の安全・安心を守るための活動を行っています。

資機材は、司令車3台・ポンプ自動車1台・小型動力ポンプ付積載車53台、山間部である北部隊には仮設水槽・ジェットシューターを配備し消防活動を実施しております。

3 神崎市消防団の活動

式典としては、4月の入退団式と1月の出初式を行っています。出初式では、中部隊による長崎街道でのパレードやふんどし姿で2隊による馬簾回しを行っています。

訓練としては、4月の春季訓練と8月の夏季訓練、消防学校1日入校、文化財防御訓練を行っており、夏季訓練では規律訓練に加え各分団対抗による小型ポンプ積載車操法を行なっています。

年2回の全国火災予防運動期間中には、



馬簾回し



女性隊啓発活動

防火パレードを行いながら火災予防広報や消防水利の点検を行っています。

啓蒙活動として、3日間の年末警戒と女性消防隊による独居老人への啓発活動を行っているところです。

各隊独自の活動としては、南部隊については消防団員による献血活動や月の輪工法等による水防訓練を行い、北部隊では、脊振山の近隣市町による山林火災を想定した合同訓練や土砂災害等の危険箇所点検を行っています。

資機材の点検については、毎年1回、消防団全てのポンプ自動車、積載車、小型動力ポンプ等の機械器具点検や小型ポンプ積載車操法の指導を機械隊で行っております。

また、S28年の豪雨による城原川氾濫や近年のゲリラ豪雨による災害が全国的に発

生していることにより、市民の防災意識が益々高まる中、市内の河川氾濫を想定した防災訓練を行政や地域と消防団が一体となって行っています。

4 おわりに

消防団は、東日本大震災をはじめ、昨年度における九州北部豪雨などでも消防団の活躍が高く評価されており地域には不可欠な組織であると考えております。

消防団の役割とは、火災時の対応のみだけではなく私たちが想定の出不来いような大災害時における対応についても市民からの消防団への期待は、高まっているところであり、まさに市民の生命・財産を守っていくのが消防団の役割と思っています。

また、コミュニティの場が減っている現在、世代を超えたコミュニティ組織としての存在意義は大きなもので、地域で助け合うという風習は、子孫にも受け継がなければならないと思っています。

神崎市消防団は、「自らの地域は自らで守る」という精神に基づき、市民の期待に沿えるよう今後も訓練・啓発に励み安心して安全なまちづくりに寄与していく所存でございます。



文化財防御訓練



シンフォニー（岩手県）

「街の防災に女性の力を」

北上市消防団第1分団第1部 団員

高橋 裕香

「カーン、カーン。カーン、カーン。」この原稿が掲載される頃、私たち女性消防団員は夜警のため鐘を鳴らしながら市内を走り回っています。

岩手県北上市の消防団は総勢1,000名。その中で20～30代の女性9名が在籍しています。活動内容は夜警巡回のほか出初式、花火大会会場の警戒、ラッパ隊、消防演習等です。普段はそれぞれの分団の中で男性団員と共に活動しており、女性だけで集まることはありません。仕事を持つ人、家族や育児に忙しい人など生活スタイルが様々な為、お互いの意見や悩み事を話し合う機会がなかなか持てないのが現状です。そん

な中で退団する方もなく徐々に団員が増えてきていることは嬉しいことです。

私が初めて団員として参加した行事は操法大会でした。朝早くから練習が始まり、ポンプ車からどうやって水を出すのかもわからなかった私に、先輩団員の皆さんは一から教えてくださいました。操作方法のマニュアルを読み、頭では分かっているつもりでも体が自然に動くようになるにはかなりの時間がかかります。結局は繰り返しの練習あるのみです。当日は指揮者の「集まれ！」の号令直前まで、頭の中で動作の流れを確認していました。競技はあっという間に終わってしまい、結果は必ずしも満足

いくものではありませんでした。無事に終えた安堵と同時に、無駄な動きのない消火活動をする難しさと日頃の訓練の大切さを痛感しました。大会後の反省会では先輩方から励ましの言葉と助言を頂き、次の大会では納得のいく結果を出したいと強く思いました。

去年、参加させていただいた全国女性消防団活



第18回全国女性消防団員活性化秋田大会にて

性化大会で出会った皆さんのパワフルさ、団結力の強さには驚かされました。「皆が忙しい中、時間のやりくりはお互いに補い合うものだよ。」と他県の団員の方から伺いました。自分自身、都合で訓練に参加できず迷惑をかけていることも多々あります。今までなんとか続けてこられたのは分団員の方々の支えや家族の理解があったからです。これからは女性団員同士の連携体制を充実させ、長く任務を続けていける環境を作っていかなければと思います。この大会の様子を報告したからでしょうか、近いうちに制服が支給されることになりました。これまで男性団員と同じ作業服で活動していましたが、女性団員の存在もアピールすることができればと期待しています。

男性がほとんどを占める消防団の中で、女性の良さとは何でしょうか。それは周りを和ます柔らかい雰囲気を持っていることだと思います。今年4月、市のさくら祭り会場で行われた消防演習で、女性団員はよく観光客に道を尋ねられたりしたと聞きます。私自身、「今は女性の方もいらっしゃるんですね。」などと声をかけられます。まだまだ女性消防団が周知されていないな

と感じる一方で話しかけやすいということは大切だと思います。災害時の非常時、「ご近所さん」のように気軽に声をかけていただければ被災者が今何を必要としているのか分かりますし、速く正確に対応できます。体力の面では男性に及ばないところもありますが、気配り、心配りで補うことができると思います。

自分の母や妻、姉妹が防災の知識を持っていることはとても心強いことだと思います。その知識が家族に広まれば防災の壁はさらに厚くなるでしょう。確かに仕事や家庭との両立、団員としての責務は求められますが、それ以上に多くの出会いがあり、社会に貢献していると感じる喜びがあります。人柄も気候ものんびりとした北上市。この街を守っていくために努めていきたいと思っています。



北上市消防演習 放水訓練



シンフォニー（愛媛県）

「今、女性消防団員として」

伊予市消防団 本団 団員

仲神 明美

私の住む伊予市は、愛媛県の道後平野の最西部に位置し、広域面積は194km²、人口が約38,000人、気候は温暖で、海と山の自然に恵まれたとても住み良いところです。平野部には国内出荷6割のシェアを占める複数の削り節工場が立地し、山間地は中山栗の特産地となっています。また、穏やかな瀬戸内海に面しており、国内でも有数の夕日の美しい町でもあります。

私が所属する伊予市消防団は、全団員数が803名で、1本部、3方面隊、10分団で構成されています。

女性団員が誕生したのが平成15年4月、たった4名からのスタートでしたが、在職団員の呼び掛けなどもあり、現在は17名が本団付けで活動をしています。

ちなみに私の入団は、職場の上司で消防団員をしていた方より「なあ女性消防団員にならんへんけ〜？」の一言からでした。最初はまたまた冗談をと聞き流していましたが、とにかく職場で会う度に熱心に話してこられ、根負けした訳ではありませんが、



ふたみの夕日

家族と相談した上で了承しました。入団後にわかったのですが、なんとその上司は消防団長でした。

私たち女性消防団員は、災害現場への出動はしていません。基本的な活動として、消防出初式や消防操法大会の進行などの担当を努め、市防災訓練をはじめとする訓練への参加、火災予防運動期間中における店頭広報などを中心とした防災啓発を業務としています。

そのほか、概ねの女性消防団員が応急手当普及員の資格を取得しており、消防団員の研修会時に応急手当の指導を行い、地域防災訓練などでも救護所活動でトリアージ処置をしています。



夏季研修

また、近隣市町の女性消防団員と親睦レクバレー大会や研修会を開催し情報交流も実施しています。昨年度はDIG訓練を実施したのですが、日常生活をしていても案外気づかない地域の危険箇所を図上の訓練から認識することができました。また、女性ならではの観点から活発な意見交換ができたと思っています。

昨年、秋田県で開催された全国女性消防団員活性化大会にも初めて参加をいたしました。活動事例発表では、あまりにも全国の女性消防団員のみなさんのパワフルさと活動内容のすばらしさに感銘を受け、そして東日本大震災の過酷な状況下での女性消防団員の活動のお話では、涙しながら心を打たれたとともに、今後の消防団活動への



DIG訓練



女性消防団員活性化秋田大会にて

取り組み方について深く考えさせられました。

家事、子育て、仕事を両立しながらの主婦のため、消防団活動をする時間も限られています。家族や職場の協力も得ながら頑張っています。災害に直接に対処するだけでなく、家庭や地域に対する火災予防活動ができればと、まずは日常の家族との会話で防災の話をしてみたり、地域の自主防災訓練でも地区の方に笑顔で接しながら指導ができればと心掛けています。

本年、女性消防団員からも各方面隊別に班長が任命され、私も入団して10年の節目となりました。最近、テレビを見ても日本各地で規模の大きな豪雨災害が発生しております。東南海・南海地震の発生も懸念されている中、『今、女性消防団員として』をテーマに、私たち女性消防団員の活動の意味を見つめ直し、微力ではありますが防災に携わる一員として、自己啓発を図りながら、さらに仲間との和、活動の和を広げていきたいと考えています。

明治の蒸気ポンプ披露

富山県南砺市消防団 団長 齊藤 隆夫



1 南砺市の紹介

南砺市は、富山県の南西端に位置し、白山国立公園等を含む森林や岐阜県境に連なる山々に源を発して庄川や小矢部川の急流河川が北流するなど、豊かな自然に恵まれています。

また、本市北部の平野では、水田地帯の中に美しい「散居村」の風景が広がり、独特の集落景観を形成しています。

総面積は668.86km²、世帯数は16,930世帯、人口は54,724人で、平成16年11月1日に周辺の8町村が合併し誕生しました。

平成7年にユネスコ世界遺産に登録された「五箇山の合掌造り集落」をはじめ、平家の落人の哀愁を奏でる「麦屋節」や、1400年前から歌い継がれる「こきりこ」などの「五箇山民謡」、家並が美しい「越中の小京都・城端」、版画家棟方志功の住居「愛染苑」と氏の作品が展示される「福光美術館」、そして瑞泉寺門前の古い町並みから木槌の音が響く「信仰と木彫りの里・井波」など、香り高い歴史・文化遺産に、年間を通じて多くの人々が訪れています。

2 南砺市消防団の概要

南砺市消防団は平成16年の南砺市誕生と同時に発足し、現在は団長以下1,237名（女性団員34名）、8方面団、38分団、音楽隊で構成されており、消防ポンプ自動車35台、小型動力ポンプ積載車45台、小型動力ポンプ52台を配備し防火・防災に活動しています。



消防出初式 裸放水

3 消防団の活動

消防団の活動としては、市総合防災訓練及び地域の防災訓練の参加、市内全域での一般家庭の防火診断や火災予防運動期間中の広報活動など地域に密着した活動を行うと共に、機関員講習会や幹部講習会など消防団員とし



平野部に広がる散居村

ての資質の向上にも努めているところです。

また、方面団毎についても春秋の訓練をはじめ、防火大会や実戦操法大会などを行い、地域防災力の向上に努めています。

そのような中で、8つの方面団のうち井波方面団（旧井波町）が実施した「井波大火」に伴う行事を紹介します。

【井波大火記念行事】

南砺市消防団井波方面団は、平成25年9月7日、同市井波地域の「井波大火記念行事」の一貫として、105年前に製造された蒸気ポンプによる放水を行いました。

大火記念日当日は、井波八幡宮で防火祈願祭を行い、井波地域一円をポンプ車にて巡回後、同方面団井波屯所前で一斉放水を実施しました。特に今年は、井波大火で活躍したであろう蒸気ポンプの放水を行い、黒煙を上げ、蒸気を吹き出しながら放水する様子に住民からは歓声があがった。



明治41年に購入した蒸気ポンプ

この蒸気ポンプ（市原式ピストン式蒸気ポンプ）は、明治41年6月21日に井波消防組が購入したもので、この年の12月30日に中新町からの出火の際、発見が遅く大事に至ろうとしたが、この蒸気ポンプの初出動により3軒の焼失に食い止めた。

それまで使用していた腕用ポンプに比べて大きな威力を発揮したとの記録が残されている。これまで、南砺市消防団員でこの蒸気ポ

ンプの取扱いを知るものはいなかったが、同市消防団井波方面団の団員等により、何日も懸けてその取扱いについて検討し整備した結果、放水ができるまでとなりました。

防火イベント等で住民に披露し、防火の一助となればと期待しています。



黒煙を上げ放水する蒸気ポンプ

【井波大火（記念日）概要】

旧井波町は八乙女山おろしの風が強く、過去、度重なる大火に見舞われた。特に大正14年（1925年）9月7日に発生した火災は強い南風にあおられて、街の大半が焼失し、『井波大火』として後世に語り継がれた。これを教訓に、毎年9月7日を大火記念日として、1世紀以上経過した現在でも全町をあげて防火意識の向上に努めている。

4 終わりに

近年、消防団員にも高齢化、サラリーマン化が進み、団員の確保が困難な状況から今年6月より消防団OBが災害支援団員として加わり、現場で不足する消防力を補完しています。ゲリラ豪雨や竜巻、そして発生が懸念されている巨大地震など、消防団の役割は益々大きくなっております。

地域における防災の中心的な役割を担う我々消防団は強固な連携を持って、災害の被害軽減に努め、市民が安心して暮らせる南砺市をめざしています。

ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」 出演者紹介

(財)日本消防協会



平成25年8月放送分に
出演の消防応援団
布施明さん

8月3日又は8月4日放送



東京都
あきる野市消防団
第2分団第1部
班長
岸野 瑛治さん

あきる野市の消防団員としての活動と個人の成果を全国の皆様に報告する事が出来て有意義な時間となりました。
また、新たな気持ちで消防活動に励みたいです。

8月10日又は8月11日放送



香川県さぬき市消防団
分団長
中村 正彦さん

記念大会に参加するに当たり、改めて、今まで続いてきた消防団の責任と、地域住民を守るという使命を感じています。
今後は、全国消防操法大会への挑戦により消防技術の向上と分団の団結を強めていきます。そして、常備消防と一体となり、防災訓練に積極的に取り組むとともに、地域住民の防災意識を高め、火災や風水害、さらには東南海・南海地震の災害による被害の軽減を図りたいと思います。

8月17日又は8月18日放送



長野県上田市消防団
分団長
高野 計典さん

今回初めてのラジオ出演であり、貴重な体験をさせて頂きました。
このラジオを聴いて頂き、ひとりでも多くの方に消防の活動に興味を持ってもらえれば幸いです。
布施明さん、山本アナウンサーとお話を出来ました事、うれしく思います。
ありがとうございました。

8月24日又は8月25日放送



茨城県笠間市消防団
部長
金澤 友子さん

この度、「おはよう！ニッポン全国消防団」において歌手の布施明さんとの電話対談に出演し、笠間市女性消防団が紹介できたことは、誠に光栄なことと感じています。
これからも精鋭団員と共に一致団結し、女性だからこそできる防災活動を実施していきたいと考えております。

8月31日又は9月1日放送



愛知県豊田市消防団 ラッパ隊
副隊長 法山 泰潤さん

初めてのラジオ出演でしたので、大変緊張しました。
これからも愛知県豊田市消防団のラッパ隊として、恥じない演奏が出来るように頑張ります。

平成25年9月放送分に出演の消防応援団
小倉優子さん



9月7日又は9月8日放送



千葉県成田市消防団
分団長 長谷川 能正さん

今回は、ラジオ出演させていただきありがとうございました。

収録前は緊張していましたが、小倉優子さんと山本アナウンサーに助けて頂き、楽しい時間を過ごすことが出来ました。

今後も成田市消防団員1500名が一丸となり成田市の安全・安心に貢献して行きます。

9月14日又は9月15日放送



宮城県仙台市青葉消防団
団員 和田 俊一さん

小倉優子さんの優しい人柄のおかげで、楽しくお話することができました。消防団120年自治体消防65周年記念大会では、藩政以来続く伝統はしご乗りの継承者として、心を込めた伝統の技を皆様に披露できるようがんばります。また、この放送を聴いた方が、消防団に興味を持っていただき、一人でも多くの方が入団していただければ最高です。

9月21日又は9月22日放送



東京都東久留米市消防団
分団長 河井 清さん

ラジオに出演させていただきありがとうございました。

記念大会では精一杯の演技を行いたいと思います。

今後も東久留米の安全・安心を守るため活動していきます。

9月28日又は9月29日放送



埼玉県三郷市少年消防クラブ
クラブ員 高井 友輝さん

すごく緊張してうまくしゃべれなかったけど、とても良い経験になりました。

東京ドームの記念大会では、精一杯頑張りたいと思います。

そして、私の将来の夢、【救急救命士】になれるように、これからも消防・防災を学び、一生懸命努力します。



平成25年10月放送分に
出演の消防応援団
佐藤水香さん

10月5日又は10月6日放送



兵庫県神戸市兵庫消防団
分団長 高橋 晃治さん

地域の安全・安心のため、また、これからの時代を担う子供たちのための活動を、今後も続けて行きたいと思えます。

10月12日又は10月13日放送



岩手県一関市消防団
分団長 千葉 喜久夫さん

ラジオでのインタビューは初めてなので緊張しました。記念大会に蒸気ポンプを披露する機会を得て、本当に、保存してきてよかったと思います。東京ドームでは、ピッカピカになった蒸気ポンプをご覧頂けると思えます。

10月19日又は10月20日放送



静岡県女性防火クラブ連絡協議会
会長 鈴木 政子さん

皆様に支えられて、静岡県女性防火クラブ連絡協議会も30周年。その節目に、このような貴重な機会をいただきありがとうございました。これからも頑張っていきます！

10月26日又は10月27日放送



茨城県取手市消防団
分団長 海老原 康弘さん

今回、初めてラジオ番組に出演させていただきました。緊張しましたが、とても楽しいひと時を過ごすことができ、いい経験になりました。
今後も、地域住民が安心に暮らせるまちづくりのお手伝いができるよう頑張っていきたいと思えます。

※ (株)南日本放送の放送時間帯が、10月5日から土曜日の7:20~7:30となりました。

消防育英会理事会の開催について

(公財)消防育英会

平成25年9月17日、公益財団法人消防育英会の理事会が、日本消防会館において、開催されました。消防育英会秋本会長のあいさつ、原理事長の議事進行により、各議案について原案のとおり承認されました。

議案

- ・第1号議案 消防育英会奨学生選考委員の選任について
- ・第2号議案 消防育英会職員給与規程の一部改正について
- ・第3号議案 公益財団法人JKA平成26年度補助金要望について

- 報告事項 (1) 評議員及び理事の選任について
(2) 東日本大震災消防殉職者遺児育英奨学基金について



※消防育英会の奨学金は、公益財団法人JKAの「競輪公益資金」による補助金及び篤志家からの寄付金の基金により給付しております。



「東日本大震災消防殉職者遺児育英奨学基金」への寄付状況

(平成25年9月13日現在)

寄付件数	寄付金額
1,710件	393,904千円

多くの方々の多大なご協力に感謝しております。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

2013年度CTIF総会について

(財)日本消防協会

CTIF（国際消防救助協会）の2013年度総会はフランスミュルーズの車博物館会議室において開催され、日本消防協会から秋本会長と秋田副会長が総会に出席しました。

日本消防協会は昨年9月スロバキア共和国で開催されたCTIF総会で加盟の承認をされてから新会員として初めての参加でした。

CTIFは、1900年に設立された消防・救助に関する国際ネットワーク組織で、ヨーロッパを中心に、36か国の消防協会等が加盟しており、加盟国の消防隊員・義勇消防隊員約500万人、青少年義勇消防隊員約65万人を擁しています。国際競技会、シンポジウム、青少年消防指導者や義勇消防等に関する委員会、ワーキンググループの開催等のほか、加盟国で情報交換を行っています。国際競技会については、消防オリンピックを4年に1回、青少年消防オリンピックを2年に1回開催しており、日本消防協会は、2009年にチェコ共和国で



ミュルーズの車博物館



総会の様子

開催された青少年消防オリンピックに少年消防クラブのメンバーを派遣しました。

CTIF総会及び青少年オリンピック視察を終え、陸路でスイス・チューリッヒに移動し、チューリッヒ州の消防訓練センターを視察しました。この視察は、元CTIF総裁エッガー氏の仲介があって実現したものです。

スイスの消防は、消防士の殆どがボランティアです。チューリッヒ州も95%が消防団員で、生業を持つ傍ら消防活動を行っています。そのため、毎年2日間の日程で全消防団員がこの訓練センターで訓練を行っています。

特筆すべき点は、この訓練センターには、常勤の職員が1名しかおりません。その他の職員は、ボランティアで集まった消防団員であり、仕事を休んで約1週間の日程で訓練に参加します。訓練の内容も実践訓練が9割で、消火訓練や検索訓練などを中心にカリキュラムが組まれています。

また、軍が使用する訓練設備も併設されており、大規模災害での連携訓練なども行われています。

当日は、幸運にも実際に防火着・呼吸器等を着装して訓練に参加させていただき、更には、将来消防士になることを希望する高校生が夏休みを利用して参加する職業体験が最終日ということで効果測定が行われており、子供たちは、真剣な表情で実践的な消火・救出活動に取り組んでいました。



エッガー元CTIF総裁（中央）



燃焼実験棟の様子



ガス施設での消火活動訓練



効果測定の様子

ヨーロッパ青少年消防オリンピックの概要について

(財)日本消防協会

CTIF（ヨーロッパの消防連合組織）が開催する青少年消防オリンピックが7月18日にスイスのミュルーズで開催されました。この青少年消防オリンピックは2年に1回開催され、今回で19回目となります。

4年前のチェコで開催された大会には日本の代表20名が（中学1年生から高校1年生の男女）がオープン参加ながら訓練に挑戦しました。

1. 開会式

大会前日に行われた開会式では、各国の消防服に身を包んだ子供たちが競技場に整列して開会式が行われました。



開会式の様子



メインスタンド



聖火ランナー



喜び合う選手たち

2. 消防障害物競技

1チーム9人で同時にスタートし、フィールド上にある様々な障害（トンネルや平均台など）を突破しながら、協力しホースを延長して、最後に結索を行い、全員がゴールするまでのタイムを競う。



手押しポンプによる放水



トンネルを潜りながらホース延長

3. スポーツ競技（400メートル障害リレー）

1チーム9人で、陸上のトラックコースに設置された様々な障害を突破しながら、バトンの代わりにホース先端につける筒先を繋いで行き、ゴールするまでのタイムを競うリレー競技。



障害物を越えて



ゴールを目指す

競技を終えた子供たちは喜んだり、悔しがったり感情が豊かで、国によっては決まった掛け声で、気持ちを高めていました。また、会場には音楽が流れ、応援する大人たちは笛や太鼓、民族楽器を打ち鳴らし、旗を振りながらの応援が繰り返されました。

この消防オリンピックは子供たちにとって消防技術の向上はもちろん国際交流の場として、貴重な体験ができる大会となっています。

ガス機器による火災及びガス事故の防止

総務省 消防庁 予防課

都市ガスやプロパンガスは、取り扱いを誤ると火災や爆発などの大きな事故につながります。また、不完全燃焼による一酸化炭素中毒事故も恐ろしいものです。そこで、次の点に注意し、ガスによる火災や事故を防ぎましょう。

なお、消防庁ホームページでも「こんろ火災の恐怖とその対処方法」についての映像資料がご覧いただけます。
http://www.fdma.go.jp/html/life/yobou_contents/materials/index.html

ガス機器の正しい取付け

- ①ガスこんろやガスストーブを柱や壁に近づけて使用すると、壁面等を熱に強い材料で覆っていても、内部の木材が炭化して、低温でも発火することがあります。柱や壁などから間隔を取って使用してください。
- ②ガス漏れを防ぐため、ゴムホース等は器具との接続部分をホースバンド等で締め付けるとともに、適正な長さで取付け、ひび割れ等の劣化がないか時々点検してください。

ガス機器の正しい取扱い

- ①ガス機器を点火したときは、必ず火がついたか確かめてください。
- ②ガスこんろで揚げ物等をしている際の火災が多く発生しています。揚げ物等をする際にはその場を離れず、またどうしても離れる場合は短時間でもこんろの火を必ず消して下さい。
- ③煮炊き等をする際も、鍋を火にかけたら目を離さないようにし、煮こぼれ等による炎の立ち消えや空焚き等がないように注意してください。
- ④こんろの周囲は整理・整頓に努め、可燃物等に着火しないように注意してください。
- ⑤煮こぼれ等によるガスバーナーの目詰まりは不完全燃焼を起こし、有毒な一酸化炭素中毒の原因にもなります。日頃から適度な清掃に努めてください。

十分な換気

- ①ガスが燃焼するには、多量の新鮮な空気を必要とします。空気が不足すると不完全燃焼を起こし、有毒な一酸化炭素が発生しますので、換気扇を回す、窓を開けるなど換気に心がけましょう。
- ②ガス風呂釜や大型湯沸器等の排気筒が外れていたり、物が詰まった状態で使用すると排気が不十分になり不完全燃焼が起きることがあります。異常を感じたら、直ちに排気筒が正常な状態にあるか点検してください。

ガス漏れに気づいた時の注意点

ガス漏れ等の異常に気付いた時は、ガスの元栓を閉

め、窓を開けて空気の入れ換えをしてください。また、その際、換気扇、電灯等のスイッチやコンセントプラグには触れないでください。火花が発生し、爆発を起こす危険があります。

地震が発生した時の注意

- ①ガス機器を使用中に地震が発生した際は、火を消し、ガスの元栓を閉めてください。使用中のガス機器に近付けないような大きな地震の際は、まず身の安全を図り、揺れがおさまった後で対処してください。使用していたこんろ、湯沸器等は確実に消火してください。
- ②プロパンガスボンベを使用している場合は、必ず屋外の風通しのよい日陰に設置し、地震等で転倒しないよう鎖等で固定してください。

安全装置付ガス機器の使用

- ①ガス栓の不完全な閉止、炎の立ち消え、機器の老朽化等によって起きる事故を防ぐため、ヒューズコック、マイコンメーター等の安全装置やガス警報器を設置し、噴きこぼれによる「立ち消え安全機能」や油の温度が上がりすぎる前に自動的にガスが止まる「天ぷら油過熱防止機能」等の安全機能がついたガス機器を使用することが有効です。
- ②安全暖房器具には、地震時や誤って倒した時に自動的に消火する「対震自動消火機能」の他に、ファンヒーターの消し忘れによる長時間運転時に自動的に消火する「消し忘れ自動消火機能」等がついているものがあります。ガスによる火災・事故を防ぐため、これらのガス機器を積極的に使用すると有効です。



天ぷら油過熱防止機能

住宅用火災・ガス・CO警報器の設置

ガス機器による火災や事故を総合的に防止するためには、ガス漏れと一酸化炭素の発生を検知する、ガス・CO警報器に、熱又は煙感知機能が加わった住宅用火災・ガス・CO警報器を設置することが有効です。



都市ガス用

LPガス用

住宅用火災・ガス・CO警報器

問い合わせ先

消防庁予防課 古賀
TEL：03-5253-7523

火山災害に対する備え

総務省 消防庁 防災課

日本には110の活火山があります。国内では平成12年の有珠山、三宅島の噴火以来、大きな人的・物的被害を伴う火山噴火は発生していませんでしたが、霧島山（新燃岳）が平成23年1月26日に本格的マグマ噴火を開始しました。この他、鹿児島県の桜島は定常的に噴火して火山灰を降らせていますし、浅間山でも平成21年に噴石の飛散を伴う噴火が発生しています。

主な火山災害の要因

噴石：火口から放出される大きな岩や石である噴石は、あたると人や家屋に大きな被害をもたらすことがあります。降ってきた場合には岩かげや丈夫な建物に身をよせましょう。

火砕流：高温のガス・溶岩片・火山灰などが一団となって、高温・高速で斜面を流れ下る現象。通過した所では、家屋などがすべて焼き尽くされます。

土石流、火山泥流：火山灰が積もったところは水が地中にしみこみにくいため、雨が降ると土石流が発生したり、火口付近で噴火が起きると火山泥流が発生したりすることがあります。発生した場合には流れから遠ざかる方向へ逃げましょう。

火山灰：火山灰は噴火の大きさや上空の風の強さによっては1,000km以上も遠くまで飛んでいくことがあります。付着すると、農作物を枯らしたり、電線の切断や飛行機のエンジントラブルを引き起こしたりするなど、生活に大きな影響を与えます。

この他、溶岩流や有毒な火山ガス、火山活動に伴う地震も火山災害をもたらす要因です。

噴火警報と噴火警戒レベル

火山活動の状況と、取られるべき防災活動を知らせる情報に「噴火警報」と「噴火警戒レベル」があります。噴火警報は居住地域や火口周辺に影響が及ぶ噴火の発生が予想された場合に発表され、噴火警戒レベルは「避難」「避難準備」「入山規制」「火口周辺規制」など必要な防災活動をキーワードで示して警戒を呼びかけます。

平成25年8月現在、霧島山（新燃岳）と桜島がレベル3（入山規制）、その他の火山はレベル2または1となっていますが、仮にレベル4（避難準備）以上に引き上げられた場合には、火山周辺地域では居住地域も含めて、避難準備または避難という具体的な防災行動を迅速に取ることが強く望まれます。

火山災害対策の共同検討体制

火山は地域の行政区会の境界となっていることが多く、複数の都道府県や市町村が火山に関わることとなる場合が多くなります。この場合、関係する市町村や都道府県等の関係機関が互いに情報を共有し、避難の対応等について調整を行い、整合性のとれた行動をと

る必要があります。加えて、火山防災には市町村のみならず多岐にわたる機関が連携して取り組む必要があることから、平常時から、情報を共有し、避難の対応等について調整を行う「火山防災協議会」等の広域的な連絡・協体制の整備が必要となります。

防災基本計画（平成24年9月6日改定）では、「都道府県は、国、市町村、公共機関、専門家等と連携し、噴火時等の避難等を検討するための「火山防災協議会」を設置するなど体制を整備するよう努める」とされています。

平常時においては、火山防災協議会は、次のような事項等を共同検討する場となります。

- ① 噴火シナリオの検討
- ② 火山ハザードマップの検討
- ③ ①、②を踏まえた噴火警戒レベルの導入
- ④ 具体的で実践的な避難計画の検討
- ⑤ 火山防災マップ（②に噴火警報等の解説や避難計画の内容、住民への情報伝達の方法等を記載したもの）の検討
- ⑥ 防災訓練の計画・実施等

これらの共同検討を進めるに当たっては、協議会メンバーのうち、特に避難時期や避難対象範囲の確定に深く関与しているメンバーである、関係都道府県、市町村、国の機関（管区・地方気象台等、砂防部局）、噴火予知連絡会委員等の火山専門家等から構成されるコアグループを形成し、このコアグループが協議会等の活動を主導する役割を果たしていくことが求められています。

以上のように、火山災害対策の推進においては、都道府県が中心となり、関係機関による平常時からの定期的な連絡と、顔の見える関係の構築が重要になります。国における最近の取組としては、平成25年5月に広域的な火山防災対策に係る検討会（事務局：内閣府政策統括官（防災担当）、消防庁、国土交通省水管理・国土保全局砂防部及び気象庁）において、「大規模火山災害対策への提言」が取りまとめられました。この提言には、大規模火山災害への備えの現状の課題や、今後、国と地方



平成25年8月の桜島の噴火
(気象庁提供)

公共団体が大規模火山災害に備えて取り組むべき事項が整理されています。

今後は、内閣府等と連携の上、「火山災害応急対策対処方針（仮称）」を策定し、国・地方公共団体が実施する火山災害応急対策の具体化等を図る予定です。

問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部防災課 地域防災係 松澤、中村
TEL：03-5253-7525

地震に対する日常の備え

総務省 消防庁 防災課

地震が発生した時、被害を最小限におさえるには、一人ひとりが冷静に適切に行動することが重要です。そのためには、皆さんが地震について関心を持ち、日頃から地震発生時に備え、自分の身の安全確保や非常持出品などについて、家庭で取組をすすめていくことが大切です。

1. 家庭での防災会議

地震の時には、まず自分の身の安全確保を第一に考え、また家族が慌てず落ちついて行動できるよう、日頃から話し合い、情報を共有しておきましょう。

- 地震はいつ起こるか分からないことから、時間帯によって誰が在宅しているかなど、家族構成も考慮しながら様々なケースを想定し、次のようなことも話し合っておきましょう。
 - ・家具の転倒防止対策は十分か
 - ・家の中でどこが一番安全か
 - ・避難場所、避難路はどこか
 - ・非常持出品はどこに置いてあるか
- 海岸で強い揺れや弱くても長い揺れに襲われたら、すぐに安全な高台に避難するなど津波避難について話し合っておきましょう。
- 住所、氏名、連絡先や血液型などの自分の情報を記載した避難カードを作成し、普段から携帯しましょう。



2. 家族との連絡方法の確認

家族が離ればなれで被災した時を考えて、お互いの安否の確認手段を考えておきましょう。

- 家族が離ればなれで被災した場合、自分の身の安全が確保できたら、次は家族の安否を確認しましょう。
- 被災地では、連絡手段が限られています。公衆電話等から利用できるNTTの「災害用伝言ダイヤル171」や、携帯電話の「災害用伝言板」などの活用方法を知っておきましょう。

3. 備蓄品・非常持出品を備える

地震が発生すると普段どおりの生活ができなくなることも考えられます。数日間生活できるだけの水や食料品などの『備蓄品』を備えておきましょう。地震の被害によっては、避難を余議なくされることもあります。避難する時に持ち出す『非常持出品』を常備しておきましょう。

- 目安として最低限3日間程度の水や食料品を備蓄しましょう。
- 備蓄品は、家族構成、住居や地域の特性によって必要となるものは異なります。自分や家族にとって本当に必要なものを考えて準備しましょう。
- 備蓄品は、家族、地域の状況や賞味期限などと照らし合わせて定期的にチェックし、必要に応じて入れ替えましょう。
- 非常持出品は、備蓄品の中から、避難生活に必要なものを選ぶのがよいでしょう。備蓄品にない場合は、必要に応じて準備しましょう。
- 非常持出品は、玄関や寝室など持ち出しやすいところに置いておき、すぐに持ち出せるようにしておきましょう。背負える袋などにいれておけば、持ち出したときに両手が使えて便利です。

4. 防災活動への参加

地震に備え、防災訓練などの地域の防災活動に積極的に参加しましょう。

- 地震発生時に、初期消火や救出救助活動を行うには、日頃からの訓練が欠かせません。家族全員で防災訓練に参加しましょう。
- 9月1日は防災の日で、8月30日から9月5日は防災週間となっており、各地で防災訓練等が行われていますので、市町村役場などで確認しましょう。
- 災害などが発生した場合を想定し、参加者で被害状況や対応策について地図に書き込みイメージする「災害図上訓練」も行われています。
- 地域の自主防災組織などの活動に参加し、普段から地域との繋がりや協力し合う体制を築いておきましょう。

問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部 防災課震災対策係 日野、辰巳
TEL：03-5253-7525

福知山市花火大会火災を踏まえた イベント会場等における ガソリンの貯蔵・取扱い時の留意事項

総務省 消防庁

《ガソリンの特性》

- ・引火点は -40°C 程度と低く、極めて引火しやすい。
- ・揮発しやすく、その蒸気は空気より約3～4倍重いので、滞留しやすく可燃性の雰囲気や広範囲に形成されやすい。
- ・電気の不良導体であるため、流動等の際に発生した静電気が蓄積しやすい。

《貯蔵・取扱い時の留意事項》

- ・ガソリンを取り扱っている周辺で火気や火花を発生する機械器具等を用いない。例えばガソリンを取り扱っている場所から1m離れた場所に置かれた洗濯機で火災に至った事例や、火気や火花がなくても人体に蓄積された静電気で火災に至った事例が報告されており、ガソリンを取り扱う場合は細心の注意を払わないと容易に火災に至る危険性があります。
- ・静電気による着火を防止するためには、金属製容器で貯蔵するとともに、地面に直接置くなど静電気の蓄積を防ぐ必要があります。また、消火器を必ず準備しましょう。
- ・ガソリン容器からガソリン蒸気が流出しないように、容器は密栓するとともに、ガソリンの貯蔵や取扱いを行う場所は火気や高温部から離れた直射日光の当たらない通風、換気の良い場所とすることが必要です。特に夏期においてはガソリン温度が上がってガソリン蒸気圧が高くなる可能性があることに留意しましょう。
- ・取扱いの際には、開口前の圧力調整弁の操作等、取扱説明書等にかかれた容器の操作方法に従い、こぼれ・あふれ等がないよう細心の注意を払きましょう。万一流出させてしまった場合には少量であっても回収・除去を行うとともに周囲の火気使用禁止や立ち入りの制限等が必要です。衣服や身体に付着した場合は、直ちに衣服を脱いで大量の水と石けんで洗い流しましょう。
- ・ガソリン使用機器の取扱説明書等に記載された安全上の留意事項を厳守し、特にエンジン稼働中の給油は絶対に行わないようにしましょう。



ガソリンの貯蔵に適した容器の例
(金属製容器であることが必要)



ガソリンの貯蔵に適さない容器の例
(樹脂製容器は火災危険性が高い)

平成25年度

消防団長等幹部海外消防事情調査 の実施について

(財)日本消防協会

1 目的

海外の消防に関する制度、消防活動の実態を調査するとともに、各国消防の相互理解と交流を深めることにより、海外の消防に関する見聞を広め、我が国消防の発展に寄与することを目的とする。

2 調査期間

平成26年1月20日(月)～平成26年1月28日(火) 7泊9日

3 調査地

アテネ(2泊)・ナポリ(2泊)・ローマ(1泊)・イスタンブール(2泊)

4 調査経費

330,000円

(燃油サーチャージ等諸経費込)

5 参加者資格

各都道府県消防協会役職員、消防団幹部及び消防職員(司令補以上)等(消防担当者を含む)の幹部等(退職者も可)及び消防関係団体役職員で健康な方。

6 申込み方法及び締め切り期限

別添「消防団長等幹部海外消防事情調査参加申込書」に必要事項を記入し、参加者の写真1枚(4.5cm×3.5cm)を参加申込書に貼付し、パスポートの写し(コ

ピー)を参加申込書に添付して下さい。

参加申込書は、各都道府県消防協会に取りまとめ、平成25年12月5日(金)までに、日本消防協会国際部宛に送付して下さい。参加者がいない場合でも文書、メールまたは電話にて回答をお願い致します。

7 取扱旅行業者

株式会社日本クリエイティブ
総合旅行業務取扱管理者

山口 多喜廣

〒105-0001

東京都港区虎ノ門2-9-16

日本消防会館3階

TEL: 03-3501-6311

FAX: 03-3501-6301

8 問い合わせ先

財団法人 日本消防協会
国際部 担当 福地

TEL 03-3503-3054

FAX 03-3503-1480

E-mail: fukuchi@nissho.or.jp

- 9 ※ 申込書及び行程に関する詳しい情報については、日本消防協会のホームページ(<http://www.nissho.jp>)をご覧ください。

「消防団員健康セミナー」を実施

埼玉県消防協会第4ブロック連絡協議会

埼玉県消防協会第4ブロック連絡協議会は、平成25年度県外研修（10月4日～5日栃木県日光市）の一環として、消防団員の健康管理に対する意識を高め、生活習慣病の予防に資することを目的に、財団法人日本消防協会主催による「平成25年度 消防団員健康セミナー」を実施しました。今回のセミナーは、日本メンタルケア協会メンタルケアスペシャリストの桑江良枝先生を講師としてお迎えし、「ご機嫌な自分になるメンタルケア～自分で出来る姿勢と呼吸法で心と体を整える～」をテーマに、呼吸法等の実技を交えたご講演をいただきました。参加者は一様に、この講演で学んだ呼吸法等を取り入れ、訓練や活動に生かしていきたいと語っていました。



桑江先生による講演

「地域を守る侍求む。」 ～札幌市消防団員の募集ポスター作製～

札幌市消防局

○ 消防団の概要

札幌市消防団は、行政区画ごとに設置され、10消防団72分団で構成されており、消防団員数は平成25年9月1日現在、定員2,150名に対して、実員が1,937名で、充足率は90.1%となっております。

消防団員の平均年齢は50.4歳と全国平均よりも高い状況にあります。

○ 入団促進の取組み

札幌市消防団は、団員の高齢化・なり手不足の傾向にあるという現状を受け、例年10月15日～12月13日<60日間>の期間を入団促進キャンペーンと位置づけて、若年層(35歳以下)入団促進及び地元企業との協力体制の推進を重点項目として実施しています。

札幌市消防局では、消防団と連携し、市民に消防団の活動について広く知ってもらうため、テレビやラジオ出演によるPR、新聞や広報誌への掲載などを積極的に行い、入団促進に努めております。

特に、昨年度からは映画会社とタイアップし、入団促進ポスターを1,000部作製し、商業施設や公共施設、高校、大学に配布し若い世代を中心に広く市民に呼びかけております。

今年度は、ハリウッド映画「ウルヴァリン SAMURAI」とコラボレーション。侍が困難に立ち向かう姿と消防団員が災害に立ち向かう姿を重ね合わせ「地域を守る侍求む。」と題してポスターを作製しました。

消防団員の確保対策は、最重要課題のひとつであることから、今後もこのような効果的なPRを積極的に行い、消防団の充実強化に努めてまいります。



防災“女子会”

北多摩西部消防署 予防課 栗田 智恵

北多摩西部消防署（署長 石川義彦）では、8月21日、管内の東大和市及び武蔵村山市に所属する女性消防団員と、当署の女性消防職員による「防災に携わる女性の懇談会」と題した意見交換会を実施しました。

女性同士ということもあり開始早々に打ち解け合い、予定時間を超えるほどの盛り上がりを見せました。特に、両市の女性消防団員は救命講習普及員をほぼ全員が所持しており、東大和市消防団の女性団員で結成する「なでしこ」と武蔵村山市消防団の女性団員で結成する「オレンジフェアリーズ」が救命講習における指導について見学し合いお互いの技術を高め合いました。今後、垣根を超えた女性同士の連携を図る約束を交わしました。



特殊切手 「消防団120年」の発行

日本郵便株式会社

日本郵便株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 高橋 亨）は、1894（明治27）年の消防組規則によって消防組（消防団の前身）が発足して120年を迎えることを記念して、特殊切手「消防団120年」を発行します。

なお、同特殊切手は東京で催される「消防団120年・自治体消防65周年記念大会」の開催日（11月25日）に合わせて発行します。

発行する切手の内容

名 称	消防団120年
発 行 日	2013（平成25）年11月25日（月）
種 類	80円郵便切手
売 価	1シート800円
発行枚数	800万枚（80万シート）
販売場所	全国の郵便局等 （ゆうびんホームページ内「切手SHOP」のほか 郵便振替による通信か郵便振替による通信販売も行います。） （注）切手SHOPへの掲載は、発行日を予定しています。



消防団について

消防団は、江戸時代、将軍徳川吉宗の時代、町奉行大岡越前守によってつくられた町火消に発するとされています。その後、明治時代に入って、消防組規則によって、全国的に統一された消防組（消防団の前身）が始まりました。現在の日本の消防は常備消防と呼ばれる消防本部及び消防署と消防団の二つの組織から構成されています。全国にわたって常備消防と消防団がそれぞれ特徴を活かして連携協力するという日本の消防体制は世界に例がなく、世界に誇ることができるものです。

発行する郵便切手のデザインについて

豊原国周（とよはらくにちか1835（天保6）年～1900（明治33）年）の錦絵「東京一二伊達競」（とうきょういちにだてくらべ消防博物館所蔵）から、伴纏はんとんを着て、纏まといを持ち江戸町火消に扮する人気歌舞伎役者の役者絵を切手のデザインとしています。

頑張れ! 少年消防 クラブ

No.66 鷹栖少年消防クラブ (富山県)

鷹栖少年消防クラブの取り組み

砺波市立鷹栖小学校 校長 朝倉 良子

鷹栖少年消防クラブは、鷹栖小学校の5・6年生で組織されています。今年度は69名の団員で編成されました。クラブ員の父母には、消防士や消防団員もおり、家庭や地域において防火の呼びかけをしたり、出初め式等の地域行事に参加したりしています。

毎年、夏休みに消防クラブの夏季研修会も実施しています。昨年度は、砺波地域消防組合消防本部の職員及び富山県消防学校初任科に入校しておられる消防士の皆さんを講師に迎えて、着衣水泳と水難救助を体験しました。消防士の皆さんのきびきびとした動作、元気のよい挨拶や発声、水の中での力強い身のこなしに、クラブ員は、命を守る消防士の仕事

の重要性を実感し、尊敬の念をもちました。

また、昨年度クラブ員の一人が富山県の子ども県議会に代表議員として参加し、地震や火災の怖さを学び、日ごろより災害や火の取り扱いに気を付けることの大切さを訴えました。そして、議会で話し合われた結果をチラシにし、鷹栖小学校の学習発表会の会場で、保護者の皆さんや地域の皆さんに呼びかけました。

このように、クラブ員や地域の皆さんの防火意識が高く、この地域で5年間火災が発生していません。この無火災の継続は、クラブ員にとっても少年消防クラブの活動を通じて市民への防火広報などの防火啓発が活かされていると実感でき、防火意識の更なる高揚にも繋がっています。

また、鷹栖少年消防クラブを支えてくださるのは地元の鷹栖消防団と砺波消防署の皆さんです。消防クラブの入隊式から夏期研修の相談、学校の避難訓練や消火体験活動、いつも私たちの活動や基本的な考え方を示してくださいます。これからも、消防団、消防署の皆さんとともに、よりよい活動を推進し、地域の防火や災害に対する備えを学び、広めていきたいと考えています。



うちの

名物団員



愛媛県



新居浜市消防団 角野分団 分団長

堀田 公

「あかがねの街」新居浜市からは、角野分団の堀田分団長を紹介します。角野分団は、分団長を中心に大正2年に製造された腕用ポンプを整備し、毎年消防観閲式で操法披露を行っています。複数人のこぎ手が交替しながら行う放水活動からは、「自分たちのまちは、自分たちで守る」という当時の防火・防災に対する意識が感じ取れます。今後も腕用ポンプ操法の保存と伝承に期待しています!!!



兵庫県



高砂市消防団 北浜分団 団員

大前 英幸

婚儀の際にはおなじみの「尉と嬢」発祥の地からは、大前さんを紹介します。自営でタクシーに乗車しており、当然車には「法被」を積んでいます。乗車中、消防本部からの災害メール等により、火災を覚知した時は消防自動車より早く現場に駆けつけ消火活動を行ったことは多数あります。お客さんが乗車している時に、メール受信した時は気が気ではなく、安全にお送りしてから現場へ出動しています。北浜分団にとっては大変貴重な戦力です。

和歌山県



田辺市消防団 本宮支団 本宮分団 団員

中岸 さやか

中岸さやかさんは、東京生まれの神奈川県藤沢育ちで平成21年の観光旅行がきっかけで田辺市本宮町にIターンされました。もともと地域の安全・安心を守る消防団活動に興味があり、平成23年の春季火災予防運動期間中の分団訓練を見学にこられ、その場で入団の申し出がありました。その後、消防団活動の中で知り合った団員と意気投合し、目出度くゴールインし、現在はかわいい息子さん(1歳)と3人家族で幸せな生活を送っています。



岩手県



北上市消防団 第12分団 分団長

小原 史也

岩手県北上市から小原史也分団長を紹介します。小原さんは体育協会の役員として地域の体育振興に貢献しながら、自らも県内各地で開催されている10キロマラソンに参加する高いバイタリティーを持つ団員です。普段はただの会社員ですが、災害が発生するといち早く現場に駆けつけ、80数名の団員の指揮を執っています。また、団員が素早く確実に出動できるよう、自主的に連絡網を作成しているほか、操法の訓練指導にも熱を入れており、昨年の地区大会では第12分団が優勝し、県大会出場を果たしました。若手分団長として今後ますます期待が集まっています。



壬生町消防団 第一分団第一部 団員

日永 正太

1に消防、2に料理、3時のおやつは鳥唐です。
ファイヤー・バードシェフと陰で噂の名物消防団員、日永正太さんを紹介します。

壬生町消防団第一分団第一部、通称1-1に所属する彼は、普段は「北海道」という地元では有名な鳥料理店の二代目看板息子、料理人として商売に勤みながら、出動を待つ消防団員。「仕事しながら出番まつ」の言葉がよく似合う団員です。

ひとたび、無線で火災の知らせが入ると、ファイヤー・バードシェフは、火の鳥となつての一番に出動していくとか？正義の味方かガッチャマンか？頼もしい限りです。勿論、水防の時は水鳥となつて出動していくとか？出動シーンはまだなぞに包まれています、料理がおいしいことは、壬生町消防団も太鼓判、鳥唐、焼き鳥、鳥モツ、鳥わさ、絶品です。

消防団と鳥、いや鳥料理を愛する熱い男です。

是非、壬生町の北海屋国谷店にお越しください。料理を楽しんでいるうちに、ファイヤー・バードシェフ=ショウタの出動シーンに遭遇するかも？



熱海市消防団 第9分団 分団長

坂下 克巳

熱海市本土から南東に約十キロメートルの位置に、静岡県唯一の有人島、初島があります。伊豆半島東部相模湾海上に浮かぶ島で首都圏から一番近い離島として知られています。

今回紹介する坂下さんは、昭和62年に熱海市消防団第9分団へ入団し、現在は分団長として、

初島の安全・安心のため、災害出動をはじめ、水難事故やドクターヘリ等のヘリポートの設営等にも出動し、島民からの厚い信頼を得ています。

坂下さんの本業は、民宿と食堂「坂下」を営み、漁師としても新鮮な海の幸を提供し、実直で気さくな人柄で、観光客の皆様のおもてなしをしています。

また、幼い頃から素潜りが得意で、釣り名人としても知られています。



神崎市消防団 副分団長

幸所 博文

幸所さんは平成18年に30歳という若さで副分団長に就任され、分団の中心的な存在で、分団員さんの指導等に熱心にとり取り組んでおられます。

特技？はカラオケです。名人クラスで各地の大会からゲストとし招聘されています。

10月に東京で行われる全国大会に地元を代表して出場されます。

6才になる愛娘、愛里ちゃんと一緒に歌うことも多く、2人の18番は、演歌の「兄弟みなど」だそうです。



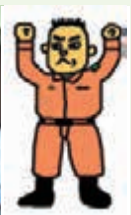
相模原市消防団 女性部（あじさい隊）部長

壽崎 祐子

壽崎祐子さんは、相模原市消防団女性部が発足した平成13年に入団された一期生です。健康飲料の販売員として毎日消防本部に顔を出していたところ、消防団を担当していた職員に声をかけられ、応募したのがきっかけでした。（毎日エレベーターも使わずに、大きな荷物を2つも持って駆け上がるパワフルさに、担当者が目をつけたとの噂です。）

消防団員になったことで、自分の防災意識も変わり、職場の販売店でも同僚に応急手当などの研修をされているそうです。

「防火指導や救急訓練で、気さくに声をかけてくれる市民の皆さんといっしょに学んでいくことにやりがいを感じています。女性部の活動で、一件でも火災を減らし、災害のない街づくりに貢献したい！」と燃える壽崎さん。これからはその明るい笑顔と健康飲料で、市民の安全と消防署員の健康を守ってくださいね！



消防団の広場

和歌山県

「消防団の活性化を目指して」



田辺市消防団
団員
(活性化推進委員会委員長)
岩峪 靖



1 田辺市の概要

「田辺市」は、平成17年5月1日に田辺市、龍神村、中辺路町、大塔村及び本宮町が合併し誕生しました。

観光スポットとしては、平成9年7月に世界遺産登録された「熊野古道」が有名で、田辺から熊野本宮に向かう中辺路ルートの中中には「熊野九十九王子」が設けられており、熊野詣の旅人が長いたびの疲れをほぐし、旅の安全を祈ったといわれています。

また、日本最古の温泉といわれる湯の峰温泉、川原を掘れば温泉が湧き出す珍しい川湯温泉、「日本三美人の湯」と呼ばれる龍神温泉も人気のスポットとなっています。



2 田辺市消防団の沿革

合併に伴い5つの消防団が統合され、新「田辺市消防団」が発足しました。新「田辺市消防団」の体制は、団本部の組織下に旧市町村の消防団を5つの支団として位置付け、1団本部5支団31分団（女性分団を含む）とし、条例定数についても合併前の各消防団の合計数である1,050名体制を維持しています。

3 田辺市消防団活性化推進委員会の活動

本市消防団の現状をみますと、地域においては過疎化の進展などに伴い若年層が減少したことなどにより、団員の確保が困難で団員の平均年齢も高齢化しています。しかしながら、大規模災害時においては、その地域密着性、要員動員力、即時対応力という特性を活かした消防団の役割は極めて重要であることから、入団していただきたい若い人にとって魅力のある消防団にするため、平成18年度に団長の諮問機関として、各支団から推薦された中堅若手団員13名による田辺市消防団活性化検討委員会を設け、魅力ある消防団づくり・災害対応力のある消防団づくりの基本指針として「田辺市消防団活性化計画」を策定しました。

その後、「検討委員会」を「推進委員会」に組織替えし、各分団から中堅若手団員30人が参画して、活性化計画に基づき、女性消防分団の設置、訓練研修体制の見直し、報酬や手当の見直しなど具体的な取り組みを継続しています。

平成25年度 全国統一防火標語

「消すまでは 心の警報 ONのまま」

11月の日本消防協会関係行事

11月25日（月） 消防団120年・自治体消防65周年記念大会（東京）
11月26日（火） 第29回日中消防協会定期協議会（東京）

編集後記

この号に掲載させていただきましたが、全国のあちこちでまた、気象が関係する災害が発生し甚大な被害が出てしまいました。お亡くなりになられた方々、被害を受けられた方々に対しまして、心からのお悔やみとお見舞いを申し上げます。

そんな中、明るいニュースもありました。ひとつは2020年、東京でのオリンピック開催が決定しました。皆さんも東京招致団の最終プレゼンテーションのスピーチに、感銘や感動を受けた方も多かったと思います。私は特にパラリンピアン佐藤真海さんのスピーチに感銘を受けました。少なからず私が佐藤さんの出身地である宮城県気仙沼市と関わりがあることと、あのスピーチから「あきらめない」「頑張る」というメッセージを強く受けたからです。きっと東北の皆さんも同様に感じられた方が多くいらっしゃるでしょう。そしてもうひとつ東北に届いた嬉しいニュース、東北楽天ゴールデンイーグルスのリーグ優勝です。私も球団創設当時から応援しているチームであり、凄い選手が沢山いるわけでもなく、毎年下位争いをしていたチームが、チームワークで成し遂げた偉業であると思います。ぜひこのままの強さで日本シリーズを制し日本一になって欲しいと思います。応援しています。
(M・K)

お知らせ

財団法人日本消防協会副会長 菰渕 将鷹 様（70歳）におかれましては、10月1日（火）にご逝去されましたので、謹んでお知らせいたします。

購読募集

購読を希望される方は、(財)日本消防協会へお問い合わせください。

※ 年間購読料（送料込） 2,388円

（問合せ先） 総務部企画担当 03-3503-1481

寄稿のお願い

皆さまの消防団活動への取り組み、ご意見などをもとに、より充実した有意義なものにしていきたいと考えておりますので、多数のご寄稿をお待ちしています。

Eメールでも受付しています。

soumu@nissho.or.jp

月刊「日本消防」第六十六巻第十号
平成二十五年十月五日印刷
平成二十五年十月十日発行

編集人 生嶋 文昭
発行所 財団法人日本消防協会
東京都港区虎ノ門二丁目九十六
電話 〇三(3503)一四八一(代)

印刷所
東京都文京区湯島三丁目二十一十二
日本印刷株式会社
電話(383)六九七二(代)

生活協同組合 全日本消防人共済会

「火災共済金は1500倍補償」

B型火災共済

加入口数5口500円から25口2,500円まで
掛金25口2,500円で最高375万円の共済金

C型火災共済

加入口数最高200口20,000円まで
最高限度額掛金200口20,000円で最高3,000万の共済金
※共済への加入にあたり、組合員となっていたためのお出資金が別途必要となります。



共済金のお支払い対象 B型・C型共通

火災共済金：火災、落雷、爆破・破裂

風水雪害等共済金：風災、水災、雪災、車両飛び込み、航空機墜落

所在地 東京都港区虎ノ門2-9-16
日本消防会館6階
連絡先 TEL 03-3503-1439
FAX 03-3503-1480
E-Mail: kyousaikai@nissho.or.jp
URL: <http://www.nissho.or.jp>

消防個人年金

消防個人年金は、将来の自分の為の積立年金制度で、(財)日本消防協会が第一生命保険株式会社と締結している拠出型企業年金です。

消防個人年金を紹介します

- 1 予定利率は**1.25%**です。
- 2 **月払、半年払、月払と半年払の併用**から払い込み方法をご選択頂き、**掛金1万円**(ゆうちょ銀行は5千円)からご加入頂きます。また、まとまった資金を**一時払**することもできます。
- 3 年金は、**年4回**で受給して頂きます。
- 4 **退団・退職後も継続**できます。



そのほか詳しくは、ホームページをご覧ください。